

取扱説明書 LED LCD モニター (LED モニター*)

このたびは LG 製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ
正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

LED LCD モニター モデル

32MP58HQ

* LG の LED モニターは LED バックライトを使用した LCD 製品です。

目次

3 ライセンス

4 組み立てと準備

- 4 付属品
- 6 各部の名称と基本操作
 - 6 - OSD ジョイスティックの使用方法
- 7 - 入出力端子
- 8 持ち運びのご注意
- 9 モニターの組み立て
 - 9 - スタンドの取り付け
 - 10 - スタンドの取り外し
 - 11 - ケーブルホルダーの使用
 - 11 - テーブルへの設置
 - 13 - 壁マウントの取り付け
 - 14 - 壁への取り付け

15 モニターの接続

- 15 PCへの接続
 - 15 - D-Sub接続
 - 16 - HDMI接続
- 16 AV機器に接続する
 - 16 - HDMI接続
- 17 外部機器に接続する
 - 17 - 周辺機器の接続

18 詳細設定

- 19 ユーザー設定
 - 19 - OSDメニュー
 - 19 - クイック設定
- 21 - 画質
- 24 - 全般
- 25 - 自動設定
- 26 - リセット

- 27 - -ピクチャーモード

28 困ったとき

30 仕様

- 31 プリセット モード(解像度)
- 31 電源ランプ

32 正しい姿勢

- 32 モニターを使用する際の正しい姿勢

ライセンス

該当するライセンスはモデルによって異なります。ライセンスの詳細については、www.lg.com を参照してください。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

このマニュアルは日本で発売する製品を前提に作成されています。日本以外でお求めの場合、製品型番、製品の仕様、付属品等が異なることがあります。

下記の規定は、欧州市場で販売されているものに限り、ERP 指令に対応できるモニターに適用します。

* このモニターはオンにした後、モニターの操作がなかった場合、4 時間後に自動的に電源がオフになります。

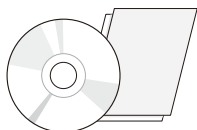
* この設定を無効にするには、OSD メニューで [自動スタンバイ] を [オフ] にしてください。

組み立てと準備

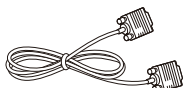
付属品

製品を使用する前に、すべての付属品が揃っているかどうかを確認してください。万が一、付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。

本取扱説明書は日本で発売する製品を前提に作成されています。日本以外でお求めの場合、製品型番、製品の仕様、付属品等が異なることがあります。



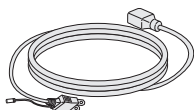
CD / カード



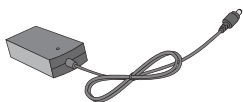
D-Sub ケーブル



HDMI ケーブル



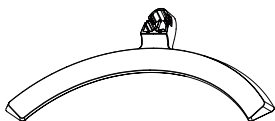
電源コード



AC-DC アダプタ



スタンドネック



スタンドベース



ケーブルホルダー

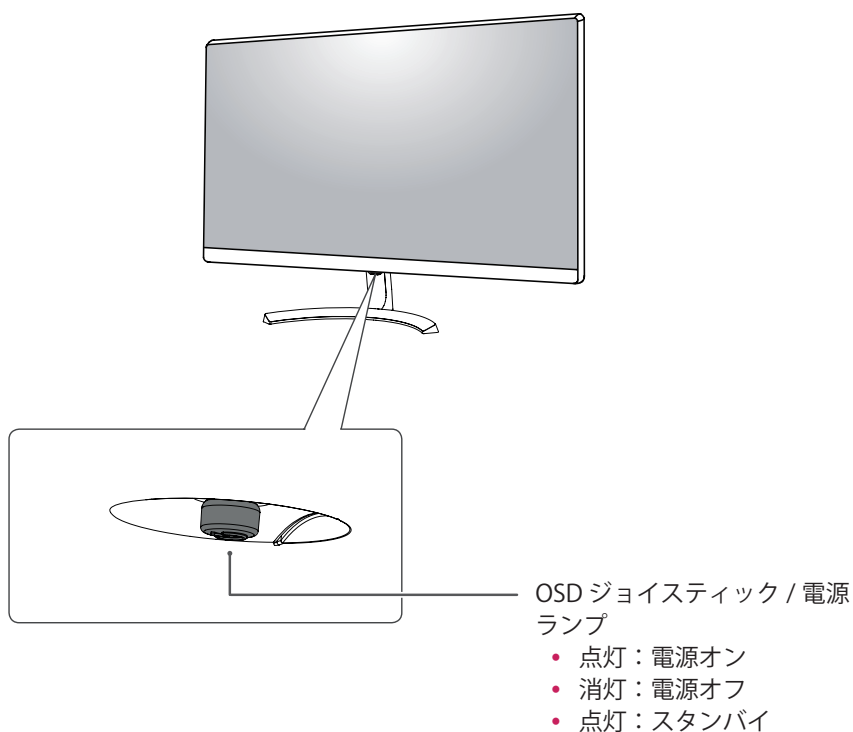
**注意**

- 製品を安全に長くお使いいただくため、正規の付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 非正規の付属品の使用による破損やケガは、保証の対象外になります。

ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の通知なしに変更されることがあります。

各部の名称と基本操作



OSD ジョイスティックの使用法

OSD ジョイスティックを指で押したり、左右に動かしたりすることで各種機能を簡単に操作できます。

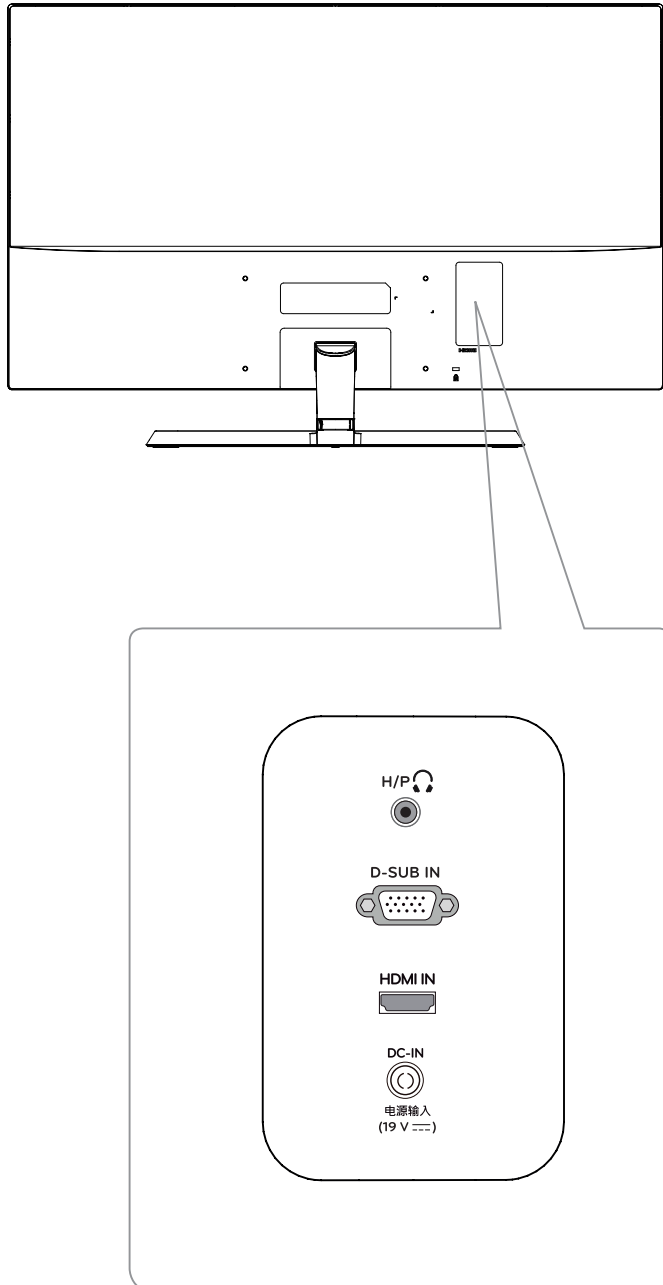
基本機能

		電源オン	OSD ジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		電源オフ	OSD ジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
		音量コントロール	OSD ジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

ヒント

- OSD ジョイスティックはモニターの底面に付いています。
- OSD：On Screen Display(オンスクリーンディスプレイ)

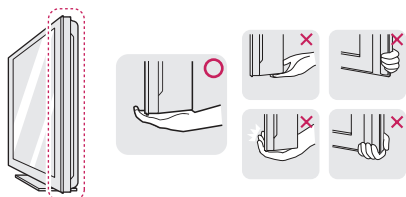
入出力端子



持ち運びのご注意

モニターを動かしたり持ち上げる際は、以下に注意して、モニターに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材を使用してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを動かしたり持ち上げたりするときは、電源コードや信号ケーブルをすべて外してください。
- モニターのフレームの上下をしっかりと持って、パネルをつかまないようにしてください。



- モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を身体側にして持ち、画面に傷が付かないようにしてください。

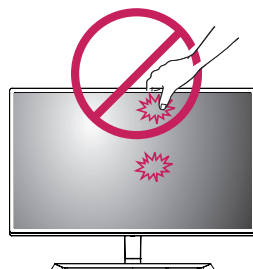


- モニターを運ぶ際は、モニターに衝撃を与えたり、過度な振動を与えたりしないでください。
- また、モニターを縦にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。



注意

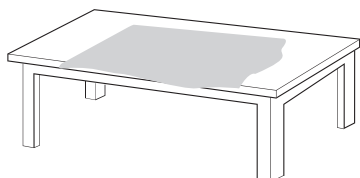
- 画面には触れないようにしてください。画面に傷が付いたり、液晶が損傷するおそれがあります。



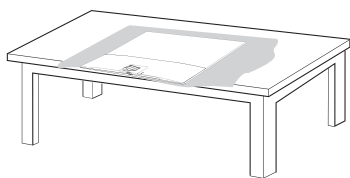
モニターの組み立て

スタンドの取り付け

- 1 ① 画面に傷が付かないように、モニターを置く前に梱包に使用されていた袋や、やわらかい布などを敷いてください。

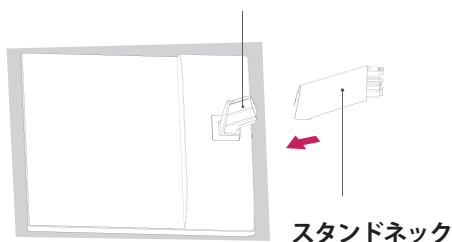


- 2 ② 画面を下に向けて柔らかい布の上にモニターを置きます。

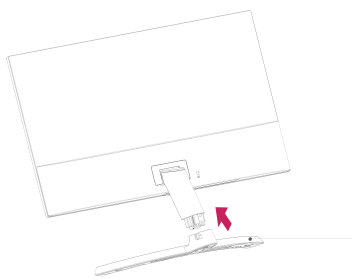


- 2 スタンドネックをモニターのスタンドヒンジに差し込みます。
スタンドネックがしっかりと差し込まれて固定されているか確認してください。

スタンドヒンジ

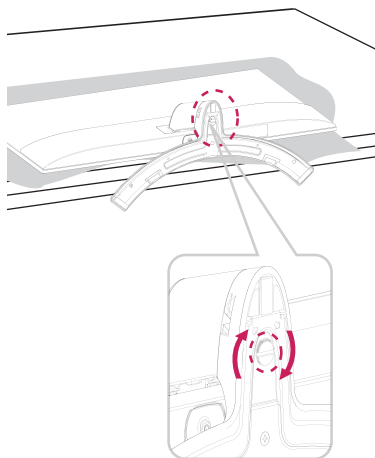


- 3 ① スタンドベースをスタンドネックに取り付けます。

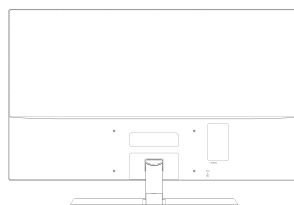


スタンドベース

- 2 ② スタンドベース底面のネジをコインまたはマイナスドライバーで時計回り（右回り）に締めて固定します。
スタンドベースがしっかりと固定されるよう、ネジはしっかりと締めてください。

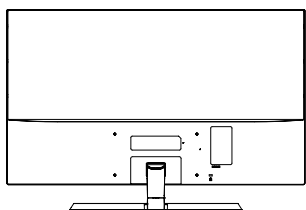


- 4 モニターを設置して、ケーブル類を接続します。

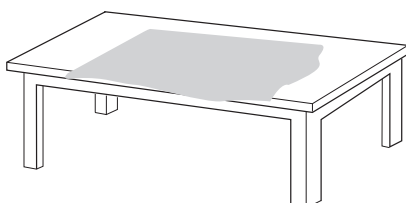


スタンドの取り外し

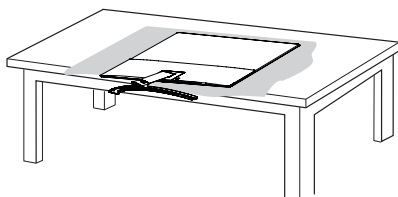
- 1 モニターに接続されたケーブル類を取り外します。



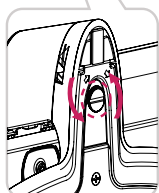
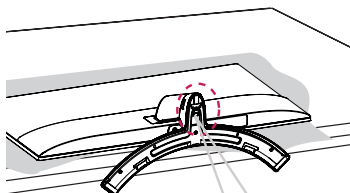
- 2 ① 画面に傷が付かないように、モニターを置く前に梱包に使用されていた袋や、やわらかい布などを敷いてください。



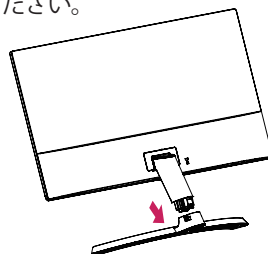
- 2 ② 画面を下に向けて柔らかい布の上にモニターを置きます。



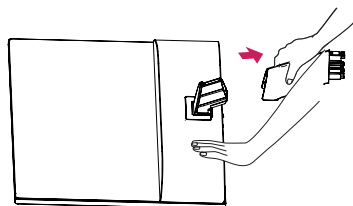
- 3 ① スタンドベース底面のネジをコインまたはマイナスドライバーで反時計回り（左回り）に回して緩めます。



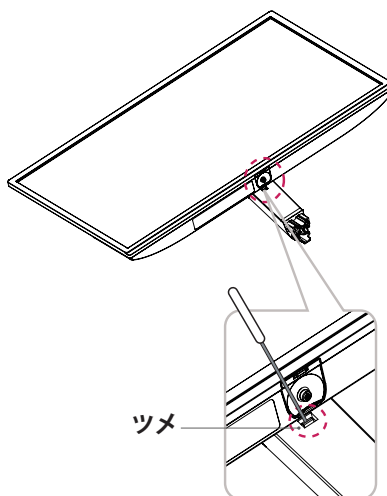
- 2 スタンドベースを取り外します。スタンドベースが外れない場合は、スタンドベース底面のネジが取り外せるまで緩んでいるか確認してください。



- 4 モニター本体を片手で押えて、スタンドベースを強く引いて、モニター本体から引き抜きます。

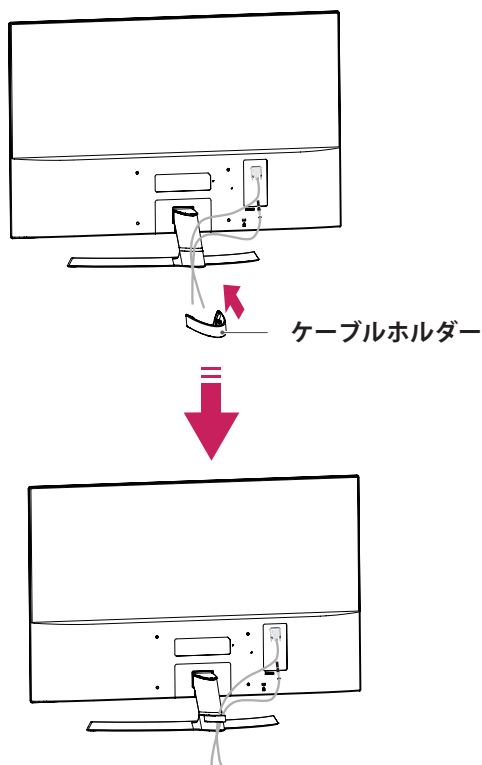


* どうしても、スタンドネックがモニターから外れない場合は、マイナスドライバー等でスタンドベース内側にあるツメを押しながら、スタンドネックを引き抜きます。



ケーブルホルダーの使用

ケーブルホルダーをスタンドネックに取り付けて、接続したケーブルをまとめます。



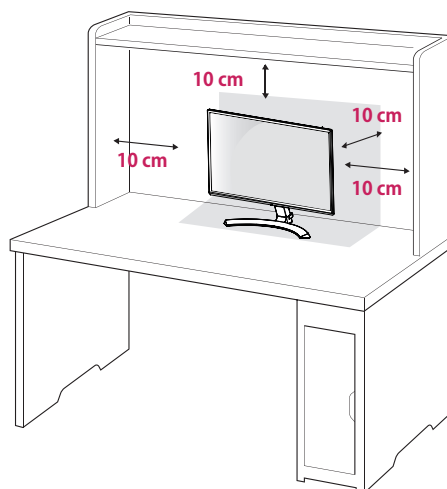
⚠ 注意

- モニターを上下逆さにした状態でスタンドをつかんで持ち運ばないでください。モニターがスタンドから外れて、落下によりケガをすることがあります。
- モニターを持ち運ぶ際は、液晶パネルに触れないでください。液晶パネルが破損する場合があります。スタンドネックまたはフレーム部分をつかんでください。
- モニターの底面には OSD ジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないと、モニターが倒れるおそれがあり、モニターの損傷またはケガの原因となります。また、OSD ジョイスティックが破損するおそれがあります。

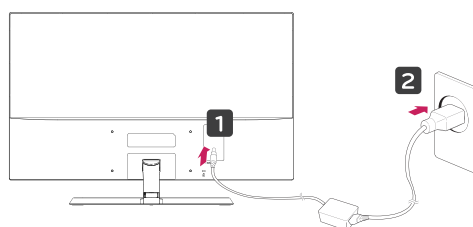
テーブルへの設置

- 1 モニターを持ち上げ、直立させた状態で設置します。

十分な通気性を確保するため、背後および周囲 10 cm 以上の空間を空けて設置してください。



- 2 AC-DC アダプタと電源コードをコンセントに接続します。



- 3 モニターの底面にある OSD ジョイスティックを押すと、モニターの電源がオンになります。

**注意**

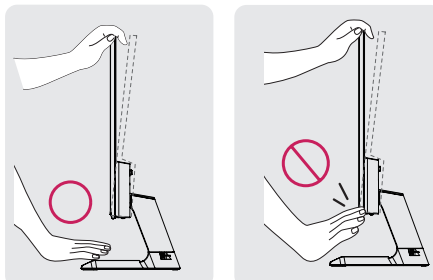
モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電するおそれがあります。

**警告**

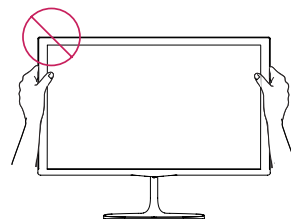
- 電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセントを使用して下さい。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- 製品パッケージ付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

**注意**

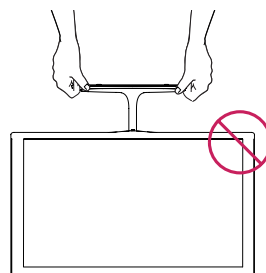
角度を調整するときに、図のようにモニターフレームの下部をつかまないでください。指をはさむ恐れがあります。



画面の角度を調整するときは、フレームを持ち、液晶パネルには触れないようにしてください。

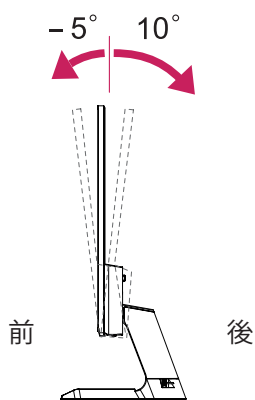


下記のイラストのようにモニターを逆さにして持ち運ばないでください。スタンドからモニター本体が外れ落下する恐れがあります。



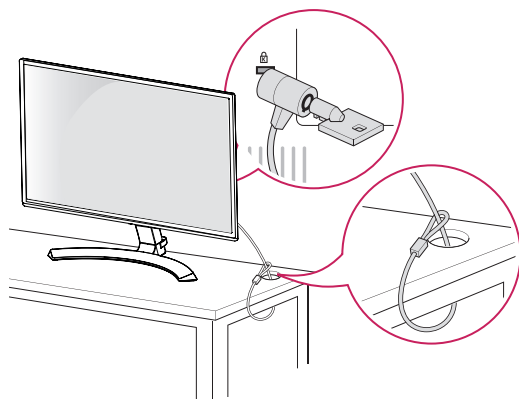
ヒント

画面を前後 (-5 度から +10 度) に調整して、見やすい角度にします。

**ケンジントンロックの使用**

ケンジントンロック用のスロットは、モニターの背面にあります。取り付けと使い方の詳細については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社の Web サイト (<http://www.kensington.com>) をご覧ください。

ケンジントンロックのケーブルでモニターをテーブルに固定します。

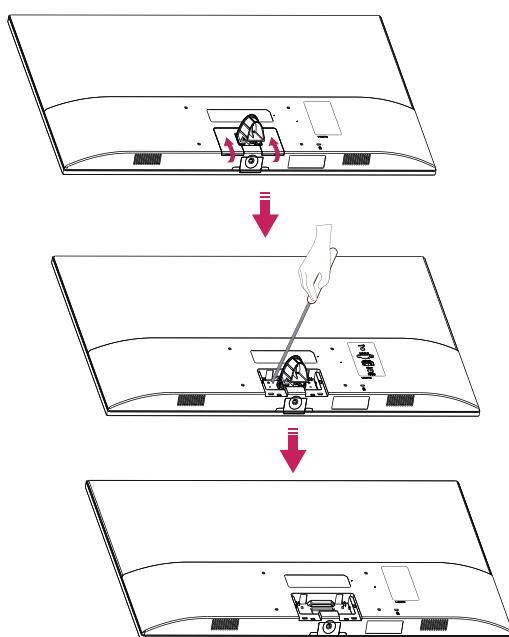
**ヒント**

ケンジントンロックのお求めは最寄りの PC ショップや家電量販店にお問い合わせください。

壁マウントの取り付け

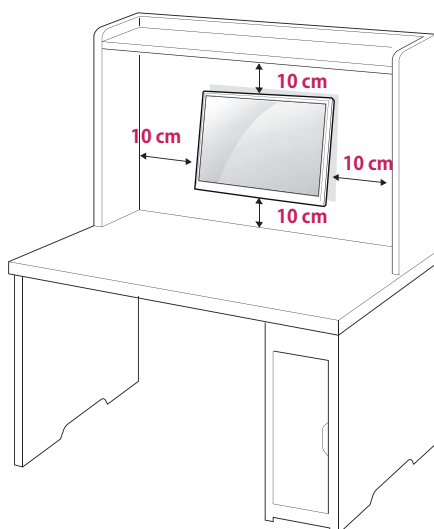
壁マウントを取り付ける前に、下記の手順で、スタンドヒンジを取り外してください。

- 1 スクリーンの正面を下に向けて置きます。スクリーン表面の擦り傷を防止するため、柔らかい布で表面を覆います。
- 2 以下図のようにカバーを外します。
- 3 ネジを外し、スタンドヒンジを分離します。



壁への取り付け

十分な通気性を確保するため、背後および周囲 10 cm 以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。

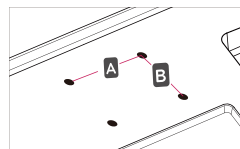


モニターを壁に取り付ける場合、モニターの背面で壁掛け金具（別売）を取り付けます。壁掛け金具を使用してモニターを設置する場合は、落とさないよう注意して取り付けてください。

- 1 ネジは規格より長いものを使用すると、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
 - 2 規格外のネジを使用して、製品が損傷、落下した場合は保証の対象外となります。
- 必ず、規格に準拠したものを使用してください。

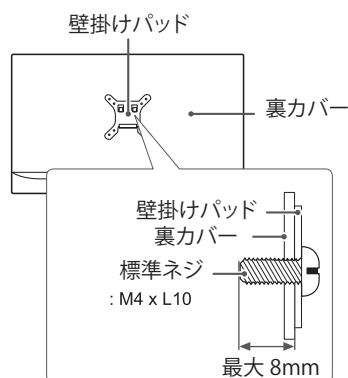
壁掛け (A x B)	200 x 100
標準ネジ	M4 x L10
ネジの本数	4

- 壁掛け (A x B)



注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを接続したままの移動や設置は、落下によるケガや感電に繋がる恐れがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けないでください。落下して重大なケガをする恐れがあります。
- 壁掛け金具は金具に付属されたネジまたは、VESA 規格に適合するネジを使用してください。
- ネジは標準の長さを超過すると、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- VESA 規格に準拠していない金具を使用したり、ネジの締め過ぎ等による損傷は保証外となりますので注意してください。
- 取り付けの不備による製品の損傷、落下した場合は保証の対象外となりますので十分ご注意の上、作業してください。
- ネジ穴の深さは 8mm です。



ヒント

- 壁かけに必要な部品や、取扱説明書は壁掛け金具に付属されています。
- 壁掛け金具は別売品です。お求めは最寄りの PC ショップや家電量販店にお問い合わせください。
- ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によって異なります。適切な種類と長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛け金具付属のマニュアルを参照してください。

モニターの接続

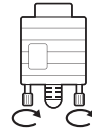
PC への接続

- 本機は、プラグアンドプレイに対応しています。
- * プラグアンドプレイ：PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PC で認識して OS の標準ドライバがインストールされます。



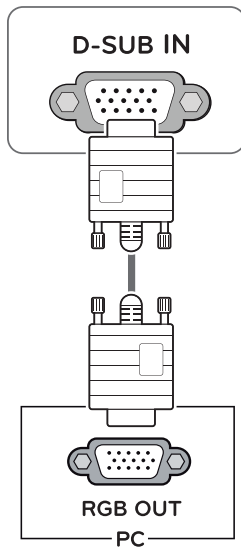
注意

- 信号入力ケーブルを接続し、時計回りに回してケーブルをしっかりと固定します。
- 映像の焼き付きを防ぐため、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。スクリーンセーバーのご使用をおすすめします。



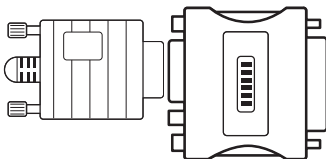
D-Sub 接続

PC とモニターをアナログ接続します。下のイラストのように、PC とモニターを D-Sub15 ピンアナログケーブルで接続します。



ヒント

Macintosh 用の D-Sub 信号入力ケーブルを使用する場合

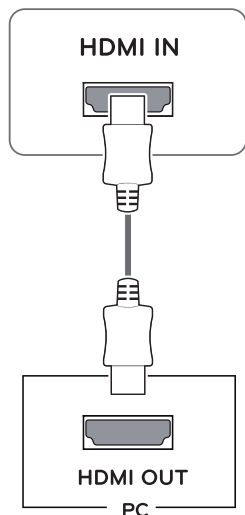


Apple Macintosh を使用している場合、付属ケーブルの 15 ピン高密度（3 列）D-Sub VGA コネクタを 15 ピン 2 列コネクタに変換するプラグアダプターが必要になります。

* 変換コネクタは別売です。

HDMI 接続

PC とモニターを HDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを HDMI ケーブルで接続します。



ヒント

- 1 台のモニターで 2 台の PC を使用する場合は、各 PC に対応する信号ケーブル（D-sub/HDMI）をモニターに接続してください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは製品不良ではありません。



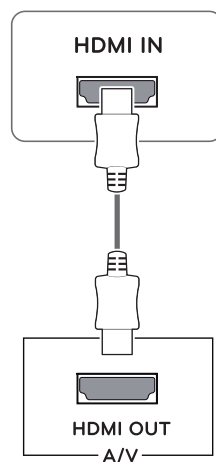
禁止

- 画面を指で押さないでください。一時的に画面が乱れることがあります。

AV 機器に接続する

HDMI 接続

AV 機器とモニターを HDMI でデジタル接続します。下のイラストのように、AV 機器とモニターを HDMI ケーブルで接続します。



ヒント

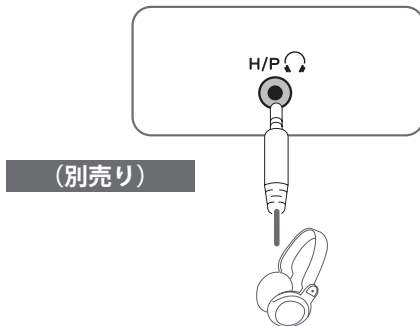
- PC を HDMI で接続した場合、まれに互換性の問題が発生することがあります。
- ケーブルは、HDMI ロゴ付きのものをお使いください。HDMI Licensing LLC で認証されていない HDMI ケーブルやハイスピードでない標準 HDMI ケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 次の HDMI ケーブルのご使用を推奨します。
 - ハイスピード HDMI ケーブル、
 - イーサネット対応ハイスピード HDMI ケーブル

外部機器に接続する

周辺機器の接続

ヘッドホンや外部スピーカーに音声を出力します。音声機器を下図のイラストのように、ヘッドホン端子に接続します。

※ HDMI 端子を使用しているときに限り音声出力ができます。

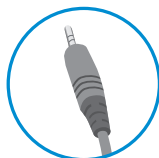


ヒント

- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型になっているコネクタの場合、モニターに当たり差し込めなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L型タイプ



ストレートタイプ

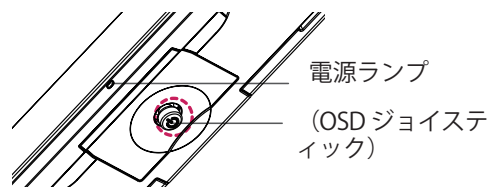
ヒント

- サーバー PC に接続した場合、ヘッドフォンやスピーカーは、正常に動作しない場合があります。

詳細設定

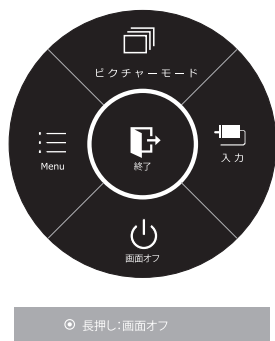
メインメニューの表示

- 1 モニターの底面にある OSD ジョイスティックを押します。
- 2 OSD ジョイスティックを前後（▲/▼）、左右（◀/▶）に倒して各オプションを設定します。
- 3 OSD ジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。



ボタン	メニューの状態		説明
	ナビゲーション OSD 非表示時		メインメニューを表示します。 (長押しするとモニターがオフになります。)
	ナビゲーション OSD 表示時		メインメニューが終了します。 (長押しするとモニターがオフになります。)
	◀	ナビゲーション OSD 非表示時	ヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を小さくします。
		ナビゲーション OSD 表示時	[Menu] に移動し、モニターの各種設定を行います。
	▶	ナビゲーション OSD 非表示時	ヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を大きくします。
		ナビゲーション OSD 表示時	機器が接続された端子の映像を切り替えます。
	▲	ナビゲーション OSD 非表示時	ナビゲーション OSD を表示します。
		ナビゲーション OSD 表示時	ピクチャーモードを選択します。
	▼	ナビゲーション OSD 非表示時	ナビゲーション OSD を表示します。
		ナビゲーション OSD 表示時	モニターをオフにします。

ナビゲーション OSD の機能



メインメニュー	説明
Menu	設定メニューを表示します。
ピクチャーモード	表示されている映像に合わせて適したピクチャーモードが選択できます。
入力	画面に表示する入力端子を選択します。 • 二つの端子に映像信号が伝送されている場合、[入力]を選択すると、切り替えることができます。 • 伝送されている映像信号がひとつの場合、自動的に接続されている端子が選択されます。(初期設定は D-Sub です。)
画面オフ	モニターをオフにします。
終了	メインメニューを終了します。

ユーザー設定

OSD メニュー

- クイック設定

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [クイック設定] のメニューにカーソルが移動します。
- 4 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) で選択します。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 6 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[クイック設定] の設定メニュー

メニュー > クイック設定	説明	
明るさ	画面の明るさとコントラストを調整します。(ピクチャーモードが [ユーザー設定] 以外に設定されているときは [コントラスト] の調整は出来ません。)	
コントラスト		
音量	音量はメニューが非表示のときに OSD ジョイスティックを右 (▶) に倒すと大きくなり、左 (◀) に倒すと小さくなります。 ・前 (▼) に倒すとミュートのオン / オフができます。	
画面サイズ	映し出す画面のサイズを変更します。	
	ワイド	映像ソースの解像度に関係なく画面全体に表示します。
	オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
SMART ENERGY SAVING	High	SMART ENERGY SAVING を有効にして、より効果的に消費電力を抑えます。
	Low	SMART ENERGY SAVING を有効にして、消費電力を抑えます。
	オフ	SMART ENERGY SAVING を無効にします。

* SMART ENERGY SAVING : 輝度補償アルゴリズムを用いて消費電力を抑えます。

ヒント

- ・映像の解像度が 1920x1080 で表示されているときは、設定メニューの画像サイズをワイド、オリジナルどちらを設定しても表示は変わりません。
- ・インターレース表示の場合は、画面サイズは変更できません。

ヒント

- 省エネの数値はパネルの種類やパネルの製造メーカーによって異なる場合があります。
- **[SMART ENERGY SAVING]** の設定が有効になっている場合、ソースの違いによって、モニターの明るさが低くなったり高くなったりする。

- 画質

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[画質] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [画質] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) で選択します。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[画質] の設定メニュー

メニュー > 画質	説明	
ピクチャーモード	ユーザー設定	[画質調整] で設定した色合いを表示します。
	ブルーライト低減モード 1	画面表示を新聞紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューにより輝度などを調節することができます。
	ブルーライト低減モード 2	画面表示を書籍のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューにより輝度などを調節することができます。
	フォト	写真の閲覧に適した画質で表示します。
	シネマ	動画の鑑賞に適した画質で表示します。
	色覚調整	P 型及び D 型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。 ヒント - これは色覚調整を行うモードです。スクリーンに違和感がある場合、この機能を無効にしてください。 - この機能によって、完全に色の判別が可能になるものではありません。
	ゲーム	ゲームのプレイに適した画質で表示します。

画像調整	SUPER RESOLUTION+	High	最も強いレベルで超解像をかけ、画質を最適化します。高品質な動画やゲームにも効果的です。
		Middle	LOW と HIGH の中間レベルに超解像をかけ画質を最適化します。
		Low	滑らかで自然な画質に最適化して表示します。動きの遅い動画や静止画像に効果的です。
		オフ	SUPER RESOLUTION+ をオフにします。
	シャープネス	画面のシャープさを調整します。	
	ブラックレベル	モニターで表示できるもっとも暗い色のレベルを調整します。(HDMI 接続のみ)	
		High	映像信号の情報をそのまま表示します。
		Low	明暗を強調します。暗い部分をより暗く、明るい部分をより明るくします。
	応答速度	パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。標準的な環境の場合、[Middle] を使用することをお勧めします。動きの速い映像の場合、[High] を使用することをお勧めします。 [High] に設定すると、残像（オーバーシュート）が発生することがあります。そのような場合、表示ソースに合わせて適切な応答速度に設定下さい。	
		High	画面の応答速度が高速になります。
		Middle	画面の応答速度が中程度高速になります。
		Low	画面の応答速度が少し高速になります。
		オフ	オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度に設定されます。
	Overscan	映像を拡大表示して、まれに映像ソースの端に発生するノイズや歪みを表示しないようにします。AV 機器を接続した場合は、[オン] にすることをお勧めします。 PC などで画像がにじんで見える場合は、[オフ] にしてください。(HDMI 接続時のみ)	
	DFC	明るさとコントラストを画面に合わせて自動的に調整します。	
	ブラックスタビライザー	見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。高い数値に設定すると、暗い部分が見えやすくなり、減らすと明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。	

カラー調整	ガンマ	ガンマ値を補正します。ガンマ 0 に設定すると中間色が明るく、ガンマ 2 に設定すると中間色を暗く表示します。標準値はガンマ 1 です。	
	色温度	画面の色を選択します。 Warm (暖色) : 画面の色温度を暖色系 (より赤い) に設定します。 Medium (中間) : 画面の色温度を中間に設定します。 Cool (寒色) : 画面の色温度を寒色系 (より青い) に設定します。	
		ユーザー	
		赤 緑 青	RGB 各色の強弱を手動で設定します。
	6 色相環	6 色相環 (赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄) の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。	
		* 色合い: 各色の色相を調節します。 * 彩度: 各色の彩度を調整します。指定色の値を大きな数値に設定すると、その色味が強くなり、小さな数値に設定するとその色味は色味を失いグレーに近い色合いになります。	
	リセット	色の設定を工場出荷時の初期設定に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意ください。	
表示 (D-Sub 接続のみ)	水平	画像を左右へ移動します。	
	垂直	画像を上下へ移動します。	
	周波数	画面の背景に見える縦棒または縞模様 (モアレ) を調整します。画像の水平方向のサイズも変更されます。	
	フェーズ	画面のフォーカスを調節できます。この項目は水平方向のノイズを除去し、文字の輪郭をクリアまたはシャープにすることができます。	

- 全般

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[全般] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [全般] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) で選択します。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。

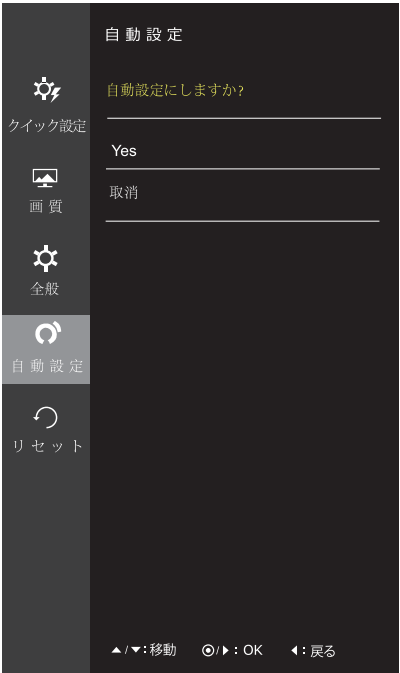


[全般] の設定メニュー

メニュー > 全般	説明	
言語	OSD メニューの言語を選択します。	
電源 LED	OSD ジョイスティックの電源インジケータのオン / オフを切り替えます。	
	オン	電源インジケータが自動でオンになります。
	オフ	電源インジケータがオフになります。ただし、モニターの電源を入れたときに起動を知らせるため一時点灯します。
自動スタンバイ	一定時間画面に動きがないと、モニターを自動的にオフにする機能です。自動オフ機能の時間を設定できます（オフ、4 時間後、6 時間後、8 時間後）。	
解像度	解像度を設定できます。 PC が以下の解像度に設定されているときに、この機能が使用できます（D-Sub 接続のみ）。	
	1024x768, 1280x768, 1360x768, 1366x768, オフ	
	1280x960, 1600x900, オフ	
	1440x900, 1600x900, オフ	
OSD ロック	OSD の設定可能な項目を制限します。	
	オン	設定可能な項目を制限します。 オンにしても設定が可能な項目は以下の通りです。 ・[全般] > [明るさ] [コントラスト] [音量] ・[設定] > [OSD ロック] 上記以外の項目を設定するときは、[OSD ロック] をオフにしてください。
	オフ	使用環境で設定可能な項目すべてを設定できます。

- 自動設定

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[自動設定] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [自動設定] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して選択します。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。



[自動設定] の設定メニュー

メニュー > 自動設定	説明
自動設定にしますか？	
Yes	アナログ (D-Sub) に接続したとき、表示を自動的に最適な画面に調整します。
取消	リセットを行わず、ひとつ前の項目に戻ります。

ヒント

- この機能は、D-Sub(アナログ) 接続のみ有効になります。

- リセット

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して、[リセット] を選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [リセット] のメニューにカーソルが移動します。
- 5 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して選択します。
- 6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。

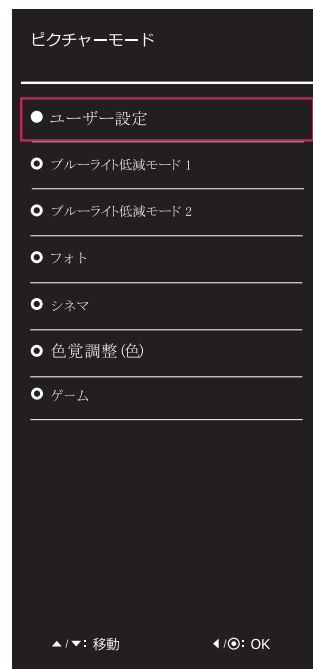


[リセット] の設定メニュー

メニュー>リセット	説明
設定をリセットしますか？	
リセット	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意ください。
取消	リセットを行わず、メニューアイコンの選択に戻ります。

- ピクチャーモード

- 1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを後ろ (▲) に倒すと右下に [ピクチャーモード] が表示されます。
- 3 設定したいモードを OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) で選択します。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと選択したモードに設定されます。



[ピクチャーモード] の設定メニュー

ピクチャーモード	説明	
ピクチャーモード	ユーザー設定	[画質調整] で設定した色合いを表示します。
	ブルーライト低減モード 1	画面表示を新聞紙のような質感で表示するモードです。紙に近い色温度で表示することで、目への負担を軽減します。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューにより輝度などを調節することができます。
	ブルーライト低減モード 2	画面表示を書籍のような質感で表示するモードです。紙に近い色温度で表示することで、目への負担を軽減します。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューにより輝度などを調節することができます。
	フォト	写真の閲覧に適した画質で表示します。
	シネマ	動画の鑑賞に適した画質で表示します。
	色覚調整 (色)	P 型及び D 型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。 ヒント • これは色覚調整を行うモードです。スクリーンに違和感がある場合、この機能を無効にしてください。 • この機能によって、完全に色の判別が可能になるものではありません。
	ゲーム	ゲームのプレイに適した画質で表示します。

困ったとき

お問い合わせの前に、次の点を確認してください。

映像が表示されない	
画面に何も映らない	- 電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。 - モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	- 画面の設定が暗くなっている可能性があります。OSD メニューで明るさ、コントラストを調整してみてください。 - 接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。
LED ランプが点滅している	- モニターが省電力モードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PC の省電力モードを解除させてください。 - PC の電源が入っているか確認してください。
画面に「OUT OF RANGE (範囲超過)」と表示される	- PC(グラフィックカード)から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合、または出力される OS の解像度がモニターより大きなサイズに設定されている場合に 표시됩니다。 - 本説明書の「製品仕様」を参照して、OS 上で適切な周波数、解像度に設定してください。
画面に「NO SIGNAL」と表示される	- 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 - 入力端子が正しく選択されていない可能性があります。OSD ジョイスティックを押してから右に倒して[入力]を選択して映像が出力されている端子になっているかを確認してください。

表示映像が正しくない	
表示位置が正しくない	OSD メニューから[自動設定]を選択して、[Yes]を選択します。表示画面が自動的に最適な位置に設定されます。(アナログ接続時のみ)
画面背景に縦の棒またはストライプの線が表示される	OSD メニューから[自動設定]を選択して、[Yes]を選択します。表示画面が自動的に最適な設定に調整されます。(アナログ接続時のみ)
映像に横向きのノイズが入る。または文字がはっきりと表示されない	- OSD メニューから[自動設定]を選択して、[Yes]を選択します。表示画面が自動的に最適な設定に調整されます。(アナログ接続時のみ) - OS の[コントロールパネル] ▶ [ディスプレイ] ▶ [設定](OS によって手順が異なります)を選択し、OS の解像度を設定します。推奨解像度以外の設定になっている場合、画像がぼやけて見える場合があります。本マニュアルの仕様をご覧ください、推奨する解像度に設定してください。 - また、正常な色で表示するには、OS 上の表示色を 24bit または 32bit の True Color に設定してください。 [Overscan] の設定が[オン]になっている場合、映像がぼやけて表示されることがあります。その場合は[オフ]に設定を変更してみてください。(22 ページ)

ヒント

- ご使用の PC の [コントロールパネル] ▶ [画面] ▶ [設定]を確認し、グラフィックカードの解像度または周波数がモニターの許容範囲内か確認し、推奨される（最適な）解像度に設定してください。推奨解像度（最適な解像度）が選択されていない場合、文字の表示がぼやけ、画面がかすれたり、端が切れたり、偏ったりすることがあるので、推奨される解像度に設定することをお勧めします。
- 設定方法はコンピューターや OS（オペレーティングシステム）によって異なります。また、グラフィックカードの性能がこの推奨解像度に対応していないことがあります。そのような場合は、PC またはグラフィックカードのメーカーにお問い合わせください。

表示映像が正しくない

画面が正常に表示されない	- 信号ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。 - グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してください。※グラフィックカードの確認をする際は必ず PC の電源をコンセントから抜いて確認してください。 - OS の [コントロール パネル] ▶ [画面] ▶ [設定] (OS によって異なります) から、OS 上の表示色を 24bit または 32bit の True Color に設定してください。
画面が点滅する	画面がインターレースモードに設定されているかどうかを確認し、設定されている場合は、PC でモニターの推奨解像度に変更します。

OS 上でモニターが正常に認識されない

「モニターが認識されません。プラグアンドプレイ (VESA DDC) のモニターが見つかりました。」メッセージが表示される	- 弊社のウェブサイト (www.lg.com) からディスプレイのドライバーをインストールすることを確認してください。 - グラフィックカードがプラグアンドプレイ機能をサポートされていることを確認してください。
---	---

画面がちらつく

HDMI に接続していると画面がちらつく	HDMI 1080i 60/50 Hz のタイミングを使用すると、画面がちらつくことがあります。その場合は、タイミングを推奨モードの 1080P に設定してください。
----------------------	---

OSD の一部の機能をコントロールすることができない

OSD で設定できない項目がある	- 本機は OSD の設定を変更できないようにロックする「OSD ロック」機能があります。 - OSD メニューから [全般] > [OSD ロック] を選択し、設定をオフにすれば、解除されます。
------------------	--

仕様

32MP58HQ

ディスプレイ	画面タイプ	フラット パネル アクティブ マトリクス -TFT LCD アンチグレア コーティング
	ピクセル ピッチ	0.36375 mm x 0.36375 mm (ピクセル ピッチ)
解像度	最大	1920 x 1080 @ 60 Hz
	推奨	VESA 1920 x 1080 @ 60 Hz
消費電力	オン モード : 34.9 W 標準 (出力条件) * スリープ モード ≤ 0.3 W ** オフ モード ≤ 0.3 W	
電源入力	19 V --- 2.0 A または 19 V --- 1.6 A	
AC/DC アダプタ	タイプ ADS-45SN-19-3 19040G (SHENZHEN HONOR ELECTRONIC 製) または タイプ LCAP21C (LIEN CHANG ELECTRONIC ENTERPRISE 製) 出力 : 19 V --- 2.1 A	
	タイプ ADS-40SG-19-3 19032G (SHENZHEN HONOR ELECTRONIC 製) または タイプ LCAP21A (LIEN CHANG ELECTRONIC ENTERPRISE 製) 出力 : 19 V --- 1.7 A	
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	スタンド装着時	726.6 mm x 491.9 mm x 204.8 mm
	スタンドなし	726.6 mm x 430.1 mm x 94.1 mm
重量	6.5 kg	
傾き範囲	-5° - 10°	
環境条件	動作温度	0 °C - 40 °C
	動作湿度	≤ 80 %
	保管温度	-20 °C - 60 °C
	保管湿度	≤ 85 %
同期入力	水平周波数	30 kHz - 83 kHz (自動)
	垂直周波数	56 Hz - 63Hz (D-Sub)
		56 Hz - 61 Hz (HDMI)
	入力形式	セパレート同期 デジタル
映像入力	信号入力	15 ピン D-sub コネクタ ,HDMI コネクタ
	入力形式	RGB アナログ (0.7 Vp-p/75 Ω) , デジタル
プラグアンドプレイ	DDC 2B(アナログ),DDC 2B(HDMI)	

上記の製品仕様は、製品の機能をアップグレードするため事前の通告なしに変更されることがあります。
電力の消耗レベルは異なる操作条件とモニターの設定によって異なる可能性があります。

* オンモードの電力消費は、LGE 試験規格 (全白モード、最大解像度) で測定されます。

** 映像が信号を受信していないときに、一定の時間が経過 (最大 5 分) すると、モニターはスリープモードになります。

プリセットモード（解像度）

D-Sub/HDMI PC のタイミング

表示モード（解像度）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	
640 x 480	31.469	60	-/-	
800 x 600	37.879	60	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1280 x 1024	63.981	60	+/+	
1680 x 1050	65.290	60	-/+	
1920 x 1080	67.5	60	+/+	推奨モード

HDMI タイミング（映像）

初期設定（工場出荷時の設定）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	HDMI
480P	31.50	60	O
576P	31.25	50	O
720P	37.50	50	O
720P	45.00	60	O
1080P	56.25	50	O
1080P	67.50	60	O 推奨モード

電源ランプ

モード	LEDの色
オンモード	白色点灯
スリープモード	白色点滅
オフモード	オフ

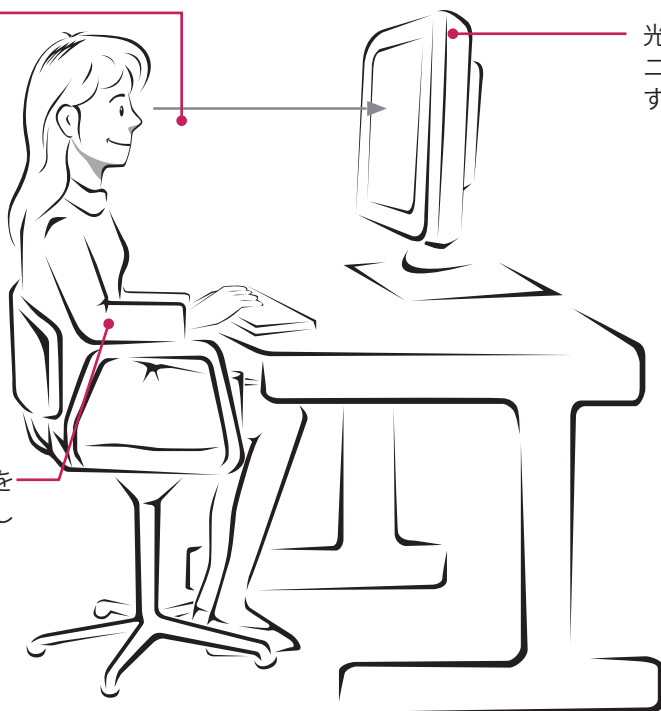
正しい姿勢

モニターを使用する際の正しい姿勢

最適な角度で映像
を見るように、モ
ニターと姿勢を調
整します。

光が反射しないようにモ
ニターの位置を調整しま
す。

キーボードに両手を
置き、腕は水平にし
ます。





製品を使用する前に必ず安全上のご注意を、お読みください。
製品のモデルとシリアルナンバーは製品の背面と側面にあります。
サービスの場合に必要なからそれらを記録してください。

モデル _____

シリアル _____